





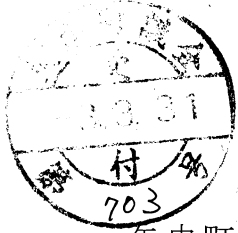
様式第5号 (第5条関係)

分類番号	丁	3	6	1
保存期限	4	5	10	永
議長	事務局	事務局員		
				

令和3年3月31日

矢巾町議会議長

会派名 矢巾明進会
代表者名 長谷川 和男



令和2年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項(第2項)の規定により、次のとおり令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 288,000円

2 支出

項目	金額(円)	主たる支出の内容
調査研究費	0円	①令和2年7月15日 森山パストラルパークにて「ヤマユリ」苗移植活動 ②令和3年1月23日 紫波町「吉水支え愛クラブ」による老人世帯へのボランティア除雪活動の取組みについて ③令和3年2月3日矢巾町商工会にて新型コロナウイルス感染症による町内企業の影響及び相談内容等の把握
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
事務費		
合計	0	

3 残額 288,000円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

様式第7号 (第6条関係)

政務活動費支出明細書 (会派名=矢巾明進会)

(1枚のうち 1枚)

No.	支出年月日	件名	内容	金額(円)	備考
計					

様式第8号 (第6条関係)

町類番号	J	3	6	/
保存年度	令和2年 3月 25日			
議長	藤原 和男			
様	信一			

3年 3月25日

矢巾町議会議長 藤原



様



会派名 矢巾明進会

代表者名 長谷川 和 男

報告者氏名 村 松 信 一



調査研究等実施報告書

実施年月日	令和2年 7月15日 (水) 午前8時～10時
参加者名 (15人)	矢巾明進会：長谷川和男、村松信一、藤原由己 町民の会：高橋安子 白沢自治会高原会長 一般町民 計15名
目的	本町の花である「ユリ」は、庭先などに普通にみられ野山にも自生していたが、近年減少し、見かけることが少なくなった。このことは町民と議会の懇談会でも取り上げられ、ユリの咲き誇る様を鑑賞できる場所があっても良いのではないかと提言を受けたこともある。そこでヤマユリの増殖を図ることを目的に、種を採取して苗を育成し、移植活動を行った。
活動場所	森山パストラルパーク
対応者 又は 主催者	矢巾明進会
概要及び 所見	○ 概要 (1) 令和元年の秋に種の採取をし、約5カ月の保温管理により発芽させ、5月から7月まで苗を育成した。 (2) 7月15日、白沢住民自治会高原会長より、森山パストラルパークについて、熊野森から森山パストラルパーク誕生の経過や普段の手入れ・管理等の説明を受けた。 その後、森山パストラルパーク展望台付近に80本の苗を移植した。

後日本庁舎花壇に10本程の苗を移植した。
なお、移植場所については町の許可を得た。

○ 所 見

10数年前までは、森山パストラルパークには、ヤマユリ、コオニユリが500本ほど咲き誇っていたが、最近の調査では、コオニユリが1本、ヤマユリが150本程に減少した。

平成31年「女性のつどい」参加者と議会との懇談会において、町の花であるユリの減少に対策を講じてはどうかと提言をいただいたこともあり、種の採取から移植までの10ヶ月にわたり苗の管理をし、町民や白沢自治会等の協力をいただいて7月15日に森山パストラルパーク・庁舎花壇に移植した。

発芽から開花まで5年ほどの時間を要するが、この活動を継続的に実施し、森山パストラルパークをヤマユリの里としたい。

なお、今年も500本程発芽したことから、賛同いただける方々と一緒に移植を行う予定。

経 費

0 円

様式第8号 (第6条関係)

期日	丁	3	6	1
時間				
場所				
議長	令和3年3月25日			
書記				

矢巾町議会議長 藤原由巳

会派名 矢巾明進会

代表者名 長谷川 和 男

報告者氏名 村松 信 一



調査研究等実施報告書

実施年月日	令和3年1月23日(水) 午後1時30分～3時
参加者名 (1人)	矢巾明進会：村松信一
目的	除雪が困難な家庭等を支援する活動について、紫波町水分地域の取組み状況視察
活動場所	紫波町水分地域「吉水支え愛クラブ」役員宅
対応者 又は 主催者	菅川事務局長他 役員計2名
概要及び 所見	<p>○ 概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公的補助金を使い無料実施 紫波町社会福祉協議会「除雪モデル事業」のモデル団体の指定を受けた。 2 吉水支え愛クラブは公的補助(年間5万円)をもとに、会員や募集したボランティア作業員により、除雪が困難な家庭等を無料で支援する。 3 対象者(希望者)の申込み方式 吉水地域内の「65歳以上の老人世帯」を基本に、年齢に関係なく「いろいろな事情で誰かの支援がなければ除雪が困難な家庭」が対象。 4 除雪範囲 町道から敷地まで、または敷地内の家屋等周辺で安全に作業ができる範囲 5 作業は町道除雪後の日中に行う。

- 6 除雪ボランティアへ作業経費等支給
- ・トラクター・除雪機持参による作業(1日1時間以上)
5,000円
 - ・スコップ等除雪機器材による作業及び除雪(1時間以上)
3,000円
 - ・機械の油代
 - ・1人500円程度の茶菓子

- 7 予算について
社会福祉協議会より5万円、
支え愛クラブ・自主防災等5万円 計10万円

○ 所 見

今までも地域で草取りや除雪の活動を行っていたが、今年度初めて除雪に対し5万円程の補助がでる見込みとなったことから、本格的なボランティア除雪に取り組むこととした。

あくまでボランティアであり、除雪は無料、作業者は会員または作業員として登録された者としている。

活動の目的は、独居老人をはじめ、高齢者世帯の生活路の除雪並びに安否確認であり、地域住民参加型で進めるとしている。

また「吉水支え愛クラブ除雪支援実施基準等」「作業実施規程」を設け、安全作業に努めている。

本町でも福祉サービスとして、矢巾町日常生活たすけあい隊の活動や、有料で対応するシルバー人材センターによる個人宅除雪制度があるが、吉水支え愛クラブはより地域密着で、無料除雪のほか、安否確認等を行うなど日常生活に寄与することに加え、地区内住民等の支え合いを目的としており、参考となった。

今後、活動状況や除雪に対する両組織の取組み方をさらに調査研究し、効果や問題点等確かめて、より利用しやすいものとなるよう、本町の老人世帯への支援の在り方の参考としたい。

経 費

0 円

様式第8号 (第6条関係)

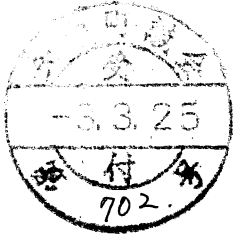
分類番号	丁	3	6	1
保存年度				
議長	令和3年3月25日			

矢巾町議会議長 藤原由巳様

会派名 矢巾明進会

代表者名 長谷川 和 男

報告者氏名 村松 信 一



調査研究等実施報告書

実施年月日	令和3年 2月 3日 (水) 午後2時30分
参加者名 (9人)	矢巾明進会：長谷川和男、村松信一、藤原由巳 町民の会：廣田清美、高橋七郎、水本淳一、高橋安子、 藤原信悦、吉田喜博
目的	新型コロナウイルス感染症による町内企業への影響把握
行先	矢巾町商工会
対応者 又は 主催者	矢巾商工会：山本事務局長 山田副主管 及川主任 矢巾明進会・町民の会
概要及び 所見	<p>○ 概要</p> <p>1 各業者事業者への影響、支援策について</p> <p>(1) 金融支援策相談については、建設業、小売業、飲食業が多い。 (金融公庫のコロナ融資をはじめ金融機関への紹介も含まれる)</p> <p>(2) 雇用支援策相談で多いのは飲食業。</p> <p>(3) 補助金支援策相談は、小売業、飲食業、理容業、美容業、その他サービス業(イベント業など)と多業種に渡り、補助金の重要性がうかがわれる。</p> <p>(4) その他(持続化給付金、家賃支援給付金等)は建設業、小売業、飲食業、その他サービス業が多い。</p> <p>※ その他サービス業：イベント業・着付け業・写真店等</p>

	<p>2 感染症の影響相談状況について 金融支援策、雇用支援策、補助金支援策、その他の相談件数（総数）が多い業種の順は下記のとおりである。</p> <p>① 飲食業 ② その他サービス業 ③ 小売業 ④ 建設業 ⑤ 製造業 ⑥ 美容業 卸売業、運輸業、理容業からの相談件数は少ない。</p> <p>3 金融支援策、補助金支援策、雇用支援策の内容</p> <p>(1) 雇用支援策 雇用調整助成金等</p> <p>(2) 補助金支援策 持続化補助金、IT導入補助金、地域企業経営継続支援事業補助金、事業再構築補助金等</p> <p>(3) その他 持続化給付金、家賃支援給付金等</p> <p>○ 所 見</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、事業者（企業）にもさまざまな影響がでている。不要不急の外出自粛や施設・店舗等の営業時間縮小、活動自粛などにより、飲食業やその他サービス業、小売業への影響が大きく、卸業や運輸業などの影響は少ない。</p> <p>影響度の大きい業種については、さらにきめ細やかな相談、支援の必要性を感じた。</p>
経 費	0 円